

# なごみ

平成二十八年九月 題字 周防 和衛

## ふじすみれユニット紹介

今回は宝塚ちどりの最上階にあるふじガ丘・すみれガ丘ユニット（以下、ふじ・すみれ）の紹介をさせていただきます。

ふじ・すみれは最上階で日当たりも良く、ユニットの玄関には観葉植物を飾っています。職員は個性豊かな方が多く、和気あいあいとした雰囲気のあるユニットです。

職員は「見える」ケアを目指し、コミュニケーションを積極的に取りながらご利用者やご家族のニーズに  
応え、安心して過ごして頂けるよう日々のケアに努めています。また、職員一人ひとりが楽しく仕事をする  
ことを心掛けているため、笑い声が絶えないこともユニットの特徴の一つです。

今回は、ふじすみれで日々楽しみ

ながらも業務に懸命に取り組んでいる職員を紹介させていただきます。

まずは我がユニットをまとめる尾崎リーダー。日々ご利用者とご家

族、そして職員のことを考えてくれている頼れるリーダーです。

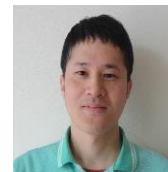
そして、この紹介文を書かせて頂いているのはサ  
ブリーダーである私、乾

です。まだまだ未熟ではありますが、  
ますが、コミュニケーションを大事  
にしつつユニットの支えとなれるよ  
うに日々奮闘中。目指すは縁の下の

力持ちといったところでしょう  
か。

本当の力持ちと云えば  
この方、川副ケアワーカー  
（以下、CW）職員の中で最も背が

高くがっしりしているため一見強面



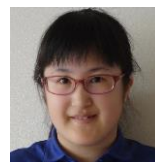
にも見えますが、実はみんなをよく笑わせてくれるムードメーカー的存在です。

続いてユニットで一番のイケメンはこの方、田之上CW。宝塚ちどりに来て一年が過ぎ、日々頼れる男へと成長中です。

そして、ユニットで一番フレッシュなのは西森CW。今年の六月からふじすみれに配属となりました。

少しでも早くご利用者のことを把握したいと日々奮闘中です。  
おそらくユニットで最も個性豊かなのはこの方、大西CW。少し空いた時間を見つけてはご利用者と歌を唄ったり、体操をしていたり。独自の気付きの視点には驚かされることも多々あります。

ご利用者のことを最も昔から知っているのはこの方、佐伯CW。なんとふじすみれ歴は七年。まさしく



ふじすみれの主、恐れ入ります。

手際の良さがピカイチなのはこの方、三浦CW。いつでもテキパキ仕事を完璧にこなしてくれます。

笑顔と元気の良さでは若者に負けてない！？いつも元気な谷口CW。細い見た目からは想像できないほど実はパワフルな精神の持ち主です。

ふじすみれの朝の顔と言えばこの方、武居CW。ユニット職員としての勤務に加え、日によっては夜勤者の早朝の補助の勤務もこなしています。

いつでもご利用者を包み込む優しさに溢れているのは鍋谷CW。もし何かあればご利用者のことが心配でたまらなくなってしまうほど心配性ですが常にご利用者のことを気にかけてくれます。夕方からのふじすみれを支えてく



れているのは池田CW。優しくして少し天然な一面もあるがんばり屋さん。

最後はこの方、田中CW。出勤時間が短いこともあり、職員もご利用者もなかなかゆっくり会うことが難しいレアな職員。二十一時からの夜勤補助勤務も兼ねており、出勤すれば精一杯頑張ってくれています。

以上十三名がふじすみれのユニット職員です。これからもユニット職員一丸となり、ご利用者とご家族の皆様により良いケアを提供できるよう精一杯励んでいきますので、どうかよろしくお願い致します。(乾)



### ■委員会報告

#### ◇事故防止委員会

事故防止委員会では先月のなごみ記事でも報告した通り、過去に起きた事故の対策が実際にユニットで周知・実践できているかを委員会メン

バーがユニットを回って確認致しました。

その結果、職員間での事故対策の周知に関して、新人の職員や異動して間もない職員に対しては、完全に行えていないこともありました。委員会より、周知が行えるようにユニットリーダーに報告しました。

事故への対策に関して、事故報告書に書いていることからさらに工夫して対策を施しているユニットや、ユニット内でご利用者の安全のために「見守り」に対する定義を「遠くから見ているのではなく、手の届く範囲でご利用者に寄り添って行う」と決め、意識を高めているユニットがあり、委員会の報告で良い取り組みとして紹介されました。



今後はラウンドの際に確認する点を統一していく為にチェック用の書式を作成し、この取り組みを続けていこうと思っています。(田中)

### ◇研修委員会

八月二十三日に食事介助研修を行いました。基本に戻り、①食事の準備について(手洗い、消毒の確認等)、②配膳について(基本的な配膳位置の確認)、③食事時の姿勢の確認について、④栄養補助食品についての説明を行い、受講者同士で食事介助の体験を行いました。

食事介助の体験では、良い姿勢での介助、悪い姿勢での介助、声掛けを行った介助、声掛け無しの介助を体験しました。介助する側、介助を受ける側を体験することにより、相手の気持ちを感じることができ、有意義な時間となりました。文頭でも触れましたが、本研修では基本的に立ち返る事を念頭においた研修となっております。受講者からは「食事介助は配膳や準備段階から始まっていることに改めて気が付



いた」との声が聞かれました。介助の基礎、基本を大切にし、安全で快適なサービスを提供出来るよう心掛けます。(藤田)

### ◇給食委員会

八月十二日の昼食はふるさと御膳(石川県)で、メニューはご飯・鶏の治部煮・パワフル揚げ・玉子豆腐・すまし汁と盛りだ

くさんでした。「鶏の治部煮が珍しくて良かった」とかき揚げのそら豆が美味しかった」など、ご利用者からは喜ばれ、笑顔いっぱいのお食事でした。



また、十月・十一月は各ユニットで行事食を行う予定です。それぞれのユニットによって、握り寿司やおでん、お好み焼きなど、様々なものを行います。

九月十三日に彩メニューがありますが、次号ではどういう意図でこの

メニューになったかなど、給食委員での活動としてお伝えしていけたらと考えています。当日のお昼は給食委員が実際に召し上がっているところを見させて頂き、感想の聞き取りを行う予定です。(尾崎)

### ◇感染症対策委員会

感染症委員会では現在、十月二十一日、二十八日に開催予定の感染症研修に向けて準備を行っています。主な内容として①ガウンテクニック②ノロウイルス処理方法③手洗いチェックを予定しています。研修開催後は各ユニットをまわり、①ガウンテクニック②ノロウイルス処理方法③手洗いチェックの三点についてチェックを実施する予定です。より実践的で介護現場に反映できる内容の研修にしていこうと考えています。また研修を実施する側も、スキルアップや知識の向上につなげていければと思います。今後、感染症が発生しやす





い流行期に向けて、ご利用者様の安全面に配慮し、対策に努める所存です。(佐々木)

### ◆地域交流委員会

地域交流委員会では十月三十日(日)に開催する介護技術講習会の内容について打ち合わせを行いました。今年度の介護技術講習会のテーマは「排泄介助」と「感染症」です。介護を行う際の「こういうときどうすればいいんだろう」「どんなオムツを選べばいいんだろう」などの疑問に分かりやすくお答えできるように、準備しております。今後も地域交流委員会が開催している、介護技術講習会や認知症予防講習会を通して、地域の方々やご家族の皆様のお役に立てるよう取り組んでまいります。多くの皆様のご参加をお待ちしております。(越知)

### ◆花火大会

八月十七日、五月台・青葉台ユニット主催の花火大会が行われました。

色々なユニットに声をかけて参加者を募り、当日は沢山のご利用者で花火を楽しむことができました。

#### 今回は手持ち花

火と吹き出し花火の二種類を用意し、夏の夜にふさわしいイベントになりました。ご利用者にお話を伺うと「久しぶりに見たけど綺麗やなあ」と言われる方もいれば「見るのはいいけど手持ちは怖いなあ」と、職員が持つ手持ち花火を見て歓声をあげる方もいました。あるご利用者は「昔は



家から打ち上げ花火が見えて、家族で楽しみにしてたよ」や「家の庭で子供と毎年線香花火をした」と、昔を思い出しながら話される方もいました。夏の風物詩という



ところで、なぜ花火大会を夏に行うようになったのか、ご存知でしょうか？諸説ありま

すが、お盆の時期にご先祖の鎮魂の為に打ち上げられたもので、「送り火」の一つともいわれているそうです。また、花火が打ち上がる時「たまやく」とか「かぎやく」と声をあげますが、それらは江戸時代に活躍した花火師の屋号(鍵屋・玉屋)です。何事にもルーツと歴史があるのですね。(須賀)

### ◆編集後記

晴れた日にはまだまだ日差しが強いです。時折涼しい風を感じるようになってきました。スーパリーの店先ではイチジク、ブドウ、ナシなどの果物もよく目にします。食欲の秋の訪れを感じます。(荻田)

